

(1)生徒の体力の現状

- 県平均を上回ったのは、次のとおりである。
1年生では男女共、反復横跳び、立ち幅跳び、ハンドボール投げの3種目。
2年生では男子の反復横跳び、シャトルラン、50M、立ち幅跳び、ハンドボール投げの5種目。
女子の反復横跳び、ハンドボール投げの2種目である。
3年生では男子の反復横跳び、ハンドボール投げの2種目である。
- 前年度に引き続き、全学年での反復横跳びの結果は高い水準である。ハンドボール投げも高い水準である。
- A判定の生徒は、1年生男子1名・女子2名、2年生女子4名の計7名で該当者は高い水準を示している。
- 全学年男女共、長座体前屈の記録は、全国・県平均よりかなり低い。
- 球技を好んでやる生徒は多いが、器械運動系の運動を苦手とする生徒が多い。
- 前年度同様、昼休みに体育館や校庭で体を動かす生徒があまりいない。特に女子に多い。
- ほとんどの生徒が自転車通学であるが、保護者の送迎が多い現状は変わらない。

(2)令和元年度の具体目標の達成状況と課題

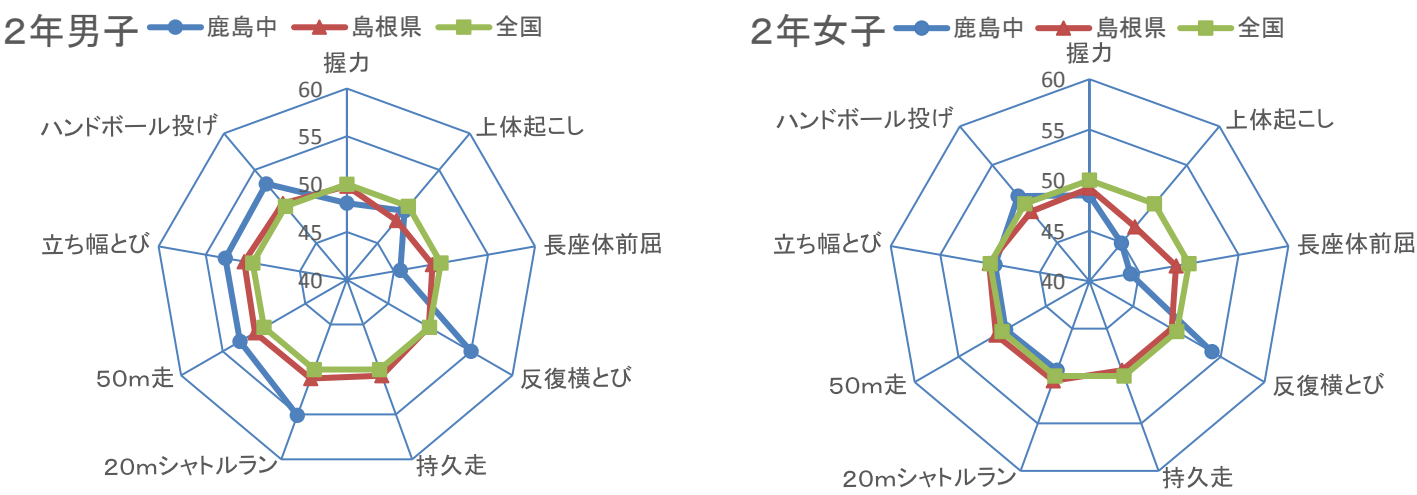
- 「授業で助け合う学習を行っている」と答える生徒がどの学年も高いので、今後も各領域でペア学習やグループ学習をする場面を設定し、お互いアドバイスをし合う場面を確保していく。
- 球技種目は非常に意欲的に取り組むので、ハンドボール投げの結果が伸びてきている。
- 体育授業前にシャトルラン形式のランニング、体幹トレーニングの後に柔軟運動を取り入れてやっているが、体力向上までにはまだ繋がっていないし、柔軟性や筋持久力のポイントが伸びていない。
- 「運動が好きだ」と答える生徒が、どの学年も高い(2年生男子は100パーセント)が、保健体育の授業は楽しいと答える生徒は、学年男女別によりかなり差がある。
- 保健体育の授業で、個別の指導を行っているが、結果に表れていないのが今後の課題である。

(3)令和2年度の取組【対策】

- ①学校における取組
 - ・体育授業前の準備運動の見直し(ランニング・体幹トレーニング・柔軟運動)
 - ・本校ではシャトルランを実施しているが、校内ロードレースもあるので、持久走に変更するかについて検討する。
 - ・生徒会の保健体育委員会による呼びかけ。(昼休みに校庭や体育館で体を動かす。)
 - ・運動、体力向上に向けて、意欲の向上や個々の目標の設定の徹底を図る。
- ②地域や家庭との連携による取組
 - ・地元企業が開催する中学生陸上教室の継続。
 - ・小中一貫教育の取組として、小学校と連携し共通の取組の実施。
 - ・体力、運動能力の向上に向けた啓発のための情報発信。
 - ・校内ロードレース大会における保護者の役員依頼、地域への広報。
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
 - ・栄養教諭による運動、体力と食についての指導の継続。
 - ・生活習慣を振り返る取組(健康チャレンジ週間)の内容の見直し。

調査実施者数(人) 1年(男子23・女子18) 2年(男子13・女子22) 3年(男子18・女子21)

(4)2年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 2年生意識調査の結果

